

JICA 研修員が富山県の里山を視察

SATOYAMA イニシアティブの推進-生物多様性保全と地域振興

国際協力機構北陸センター(JICA 北陸)では、「持続可能な自然資源管理による生物多様性保全と地域振興-SATOYAMA イニシアティブの推進」と題した開発途上国からの研修コースを、2025 年 1 月 21 日～2 月 5 日の日程で実施しています。アルバニア、エクアドル、カンボジア、東ティモール、ボスニア・ヘルツェゴビナ、ラオスから 8 名が研修員として参加しており、富山県の企業や行政機関を訪問して、里山における生物多様性保全と地域振興について関係者と意見交換を行います。研修員と富山県関係者の学び合う姿を、取材していただけますと幸いです。なお、当日は逐次通訳(日本語⇄英語)が入ります。

【取材可能日】

日付	時間	訪問先	内容
1/23	10:00～ 12:00	有限会社 土遊野	生物や生態系機能の保全に配慮した農林水産業の導入に関する手法
1/24	9:00～ 11:00	南砺市クリエイタープラザ桜クリエ 桜ヶ池クアガーデン	・地方行政の統合的実践事例 (南砺市エコビレッジ構想) ・森林活用(熱利用のしくみ)
1/28	13:30～ 15:00	氷見市漁業文化交流センター	持続可能な伝統漁法(氷見の定置網)

本研修の実施は、一般社団法人 環境市民プラットフォームとやま(PEC とやま)に委託しております。当日のプログラム詳細、取材調整については下記の堺までご連絡ください。

【本件に関する問い合わせ先】	
◆JICA 研修員受入事業 JICA 北陸 竹田 美理 TEL : 076-233-5931 e-mail : Takeda.Misato@jica.go.jp	◆当日の取材について PEC とやま 堺 勇人 TEL : 090-2745-2068 e-mail : sakai@pectoyama.org